令和元年度（平成30年度実施事業分）事務事業評価評価票

No.	37-006
担当	安井
内線等	481

PDCA	事務事業名	雨水整備事業	部課等名	水道部下水道課雨水担当

P 総合計画との関係性等

政策体系	章：　第４章　安全で快適に住み続けられるまち 節：　第２節　都市基盤の整備 基本施策：　５．治水・排水対策 単位施策：　（２）雨水排水対策の推進 個別施策：　①施設の整備と維持管理
根拠法令等	下水道法
対象・目的	雨水管渠を整備することにより浸水被害を抑制する。また、地勢的に排水不良となる地域の浸水被害の軽減を図るため、既存雨水管渠等の測量調査を行うとともに、状況を踏まえた適切な雨水排水計画の見直しを図る。
目的を達成するための手段・活動内容	過去に浸水被害が発生した乙川地域に雨水管渠を整備し、被害発生を抑制する。

D 前年度の活動結果と見られた成果

活動結果

活動実績	28年度	29年度	30年度	単位
①雨水管整備延長	436.1	252.7	144.5	m
②				
③				
事業費	246,244	128,614	84,379	千円
人件費	9,654	8,058	6,558	千円
総事業費	255,898	136,672	90,937	千円

活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位
①雨水管整備費コスト（１ｍ当り）	587.0	541.0	470.4	千円
②				
③				

成　果

成果指標		28年度	29年度	30年度	単位
①雨水管整備延長	実績値	－	252.7	144.5	m
	目標値	－	190.0	145.0	
②	実績値				
	目標値				
③	実績値				
	目標値				

C 課題の整理

観点別評価

必要性		有効性		効率性	
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		※手段の変更
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない

事業の評価・課題

C

過去に発生した集中豪雨による浸水被害等の対策として、半田東排水区に新たに管渠を整備した。ただし、目標値の設定時から施工内容の変更が必要となり、当初の精査が不足していた。また、老朽管対策として向山排水区において、雨水管渠の布設替えを実施した。そのほか、下水道ストックマネジメント実施計画の策定については、北浜田・若宮排水ポンプ場におけるH31～35の改築実施計画を策定した。

A 課題解決のための目標

今後の事業の方向性

改善推進

雨水管渠について、既存施設の調査及び計画に基づく整備を継続して実施することにより、浸水被害の軽減に努めることが必要である。過年度までに実施した排水ポンプ場のストックマネジメント計画策定業務に基づき、今後は、老朽化した設備の改築工事を実施していく計画としているが、事業量が膨大となることから、効率的な中長期計画を策定する必要がある。

令和元年度の目標

成果指標	目標値	単位
①雨水管整備延長	402	m
②		
③		